



みゆきレター



信念をもって一步一步前進



晴れの卒業式を挙行するに当たり、ご来賓並びに保証人の皆様にご出席いただきましてありがとうございます。卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。また、大学院を修了される皆さん、専攻科を修了される皆さん、修了おめでとうございます。教職員、在校生を代表しまして、心からお祝い申し上げます。

卒業生、修了生の皆さんの今日の喜びは、本学に入学以来今日までの皆さんの努力の賜物であることは言うまでもありませんが、同時に、保証人の方々の暖かい支援のおかげです。保証人におかれましては、きびしい経済状況の中、ご子弟が卒業を迎えられて安堵されておられることでしょう。

卒業生の皆さんは、本学に入学してから四年間、大きく成長されたと思います。在学中、学修はもちろんのこと、サークル活動、ボランティア活動などに精一杯励まれました。その結果、多くの人が国家資格や教員免許状、専門分野の資格を取得されました。サークル活動においても、中国地区や広島県の学生選手権大会で、多くの部が度々優勝し、全国大会へも出場しました。このような目覚ましい成果の背景には並々ならぬ努力があり、身に付けられた精神力は、将来必ず役に立つと確信いたします。

卒業生の皆さんの今日があるのは、保証人の方々の精神的そして経済的な支えがあったことであり、地域社会の多くの方々との深いご理解の中で、先輩や学友たちとの深い交わり、先生方の熱心な指導のお陰で、皆さんの豊かな人間性が培われました。皆さんは、このことをしっかりと肝に銘じ、感謝の気持ちを新たにしていただきたいと思います。

さて、ご存知のように、皆さんが大学に入学された年に地球を飛び立った「はやぶさ2」がほぼ4年をかけて今年、小惑星 Ryugu に到着し、小惑星探査というミッションを開始します。このプロジェクトでは、前回の「はやぶさ」のプロジェクトに続いて数々の新しい技術に挑戦します。4年間という時間は、長い時間のようにも、皆さんが過ごされた大学生活があつたという間であつたように、何かを目標に努力しているときには、瞬く間に過ぎてしまいます。

「はやぶさ2」のプロジェクトのように、時間をかけた一步一步の着実な歩みの中で、大きな目的の達成が可能で

ていただきたいと思います。

社会に出ると、大学で学んだ理想からかけ離れた状況に遭遇することが多々あり、臨機応変に対応することが求められます。新しい問題を解決すること、それは大変なことですが、信念をもって粘り強く取り組んでください。そして、大事なことは良い人間関係を作ることです。組織の中で仕事をするということは、信頼関係を作り、決められたルールの中で共同作業をすることにほかなりません。

このように、皆さんの歩く道は、平坦な道だけではないと思います。険しい坂道があり、大きな壁が立ちはだかるかもしれません。大学で学んだことを基礎にして、常に新しい知識を吸収し、的確な判断力をもって、そのときの課題に対応できるよう精進していただきたいと思ひます。そして、目標に向かって一步一步ときには半歩しか進めなくても自分自身のやり方で自信をもって前進してください。

最後に、皆さんの新しい人生の門出に、健康に注意され、福山平成大学の卒業生であることに誇りをもって社会のリーダーとして活躍されますよう祈念しまして、式辞といたします。

平成三十年三月二十一日

福山平成大学

学長 坪井 始



地域をはじめ国家、社会、 世界の発展に貢献を



本日の記念すべき佳き日に平成29年度卒業生のための式典が盛大に挙行されることになり、心よりお祝い申し上げます。

卒業生の皆さん本当におめでとうございます。また、本日は多くの保証人の皆様にもこの目出たい卒業式典にご列席をいただき、ありがたく厚く御礼申し上げます。保証人の皆様が大切にお育ていただいたお子様が成人となり、こんなに立派な社会人として新しい時代を、AI、IoT等を駆使できる知識と資格、能力を持つすばらしい人材として大学の卒業を迎えられ、お喜びも一入のことと改めて心よりお祝い申し上げます。

学校法人福山大学の二つの大学は、憲法並びに教育基本法及び学校教育法等の基本精神となっている「全人教育」即ち、「人間の発達可能性を全体として調和的に実現していくことを目指す教育」に従い、入学したすべての学生を大切に育てることを大学の基本理念とし、学生に対する学修指導、生活指導、就職指導に心血を注ぎ、興味を持って自分の定めた学業に励むとともに、各学部、学科で定めた必要な資格を必ず取って卒業させるよう指導してまいりました。また、広島県東部唯一の私立総合大学として「地域、社会で働く中核的人材の育成」を重要なミッションとし、地域、社会に貢献する有為な人材の育成を教育の重要な目標に掲げ、努力してまいりました。

ご承知のように経団連や日経連、商工会議所等の経済団体は、企業等で働く人材としての責任感、協調性、判断力、創造性、リーダーとしての資質、コミュニケーション能力、バイタリテイ、社会貢献への意欲などを強く求めています。

卒業生の皆さんがこれから勤める予定の職種である営業系、企画・事務系、技術系（IT・AI、通信、機械・電気、建築・土木、化学・食品）、店長（営業や店舗管理）、金融系職種、学術・マーケティング関連、専門系職種（医療・看護等）、クリエイティブ系等55職種別の「企業が求める人物像TOP3」では、次の三つを強く求めています。

第一は「積極性」、第二は「柔軟性」、第三は「外向性」となっています。

これからは、まさに企業等で働く中核的人材として、その活躍が大いに期待されるわけであり、当大学で培った学力と苦勞して取った各種資格を有効に活用し、立派な社会人として活躍されることを心から期待するものであります。

さて、当大学の現状ではありますが、ご承知のように就職については、ここ数年間ほぼ100%近くが就職するといった全国の大学就職率の平均を遙かに上回る実績を誇っています。これは偏に就職を希望している学生の努力が第一であり、ますが、それとともに大学の教職員並びに就職委員会等の大変な努力が実ったものと考えております。

大学としては入学した学生には、自分が目標とした学業に合わせ必要な各種資格を取って卒業するよう厳しく指導しており、その成果がこのように形で実ったものと心より喜んでおります。

お蔭さまで、ここ数年、学生数は年々

増加の傾向にありますが、このように高い実績を挙げておりますのは、偏に当大学の先生方の教育力、研究力、指導力などが極めて高いこと、また、事務職員も就職、入学について、学生に対し本当に親身になって相談に応じ指導していたこととの成果だと考え、心より感謝しているところであります。

さて、世界の情勢を見ますと北朝鮮の核問題をはじめ、イギリスのEU離脱、アメリカのトランプ大統領の誕生など、まさに不確実な時代で、多くの難問を抱えています。

一方、国連では環境問題や貧困、格差拡大などの課題をそのままにしておけば経済成長は続かず、健全な社会を築くことができないという危機感をもっています。そこで国連は持続可能な社会に向けた取り組みとして、貧困、健康と福祉、教育、気候変動など17の項目についての目標（SDGS、持続可能な開発目標）をかかげ、国際社会の共通の目標として2030年までに達成するよう加盟国に求めています。

卒業生の皆さん、大学で培った知識や経験、資格等を活用し、地域をはじめ、国家、社会、世界のため有為な人材として活躍されますよう心より祈念し、卒業のお祝いの言葉といたします。

平成三十年三月二十二日

学校法人 福山大学

理事長 清水 厚實

大学生活を振り返って

経営学科 石井 綾美



楽しかった日々はあっという間に過ぎ去り、大学生活は終わりを迎えます。私は四年間の大学生活を経て、多くのことを経験し、また、多くのことを学びました。

一年生の頃は大学生になったばかりで、これからのような生活をしていくのかと不安でした。自分の自由にできることがたくさん増え、色々なことに挑戦してみようと思い、今まで経験したことのない軽音楽部に入部しました。初めて触る楽器や、ライブ活動など何もかもが新鮮でした。また、初めてアルバイトの経験をして、お客様との接し方や、働くことの大変さと楽しさを知りました。

二年生からは大学生活に慣れてきて、これからどのようなところに就職するかを考えながら、過ごしました。私は接客や事務の仕事がしたいと考え、マナーに関する資格などの勉強に励みました。この資格は特に活かすことが多く、今では取得しておいて良かったと思います。

三年生になると、就職活動に向けての準備を早くから取り組みました。夏にはインターシップに参加しました。この時、積極的に行動したから、就職活動が有利に進めることができたのかなと思いました。

四年生になると、就職活動が本格的に始まりました。それまでにしておけば良かったと後悔することも多々ありましたが、今まで努力してきたことに自信を持って取り組み、応募した自動車学校の事務で内定を頂くことができました。

これまでの大学生活を振り返ると、友達や先生、家族など周りの人に支えられ、過ごすことができたことにとても感謝しています。来年度からは社会人として、新たな一歩を踏み出しますが、これからも感謝の気持ちを忘れず、今度は私が色んな人を支えられる人になりたいです。

学生のおもいで

福祉学科 行廣 七海



福祉学科に進学し、様々な学生生活の思い出を作ることができました。また今は、入学式に着た真新しいスーツに「ほつれ」が見られると、あの日から長い時間を共に過ごしたのだと感じています。私は

スーツを使う機会がほかの学生よりも多かったと思います。その理由は、複数の実習や、御幸祭の運営委員としての活動です。特に運営委員として活動した思い出は、今でも強く記憶に残っています。

私は二年次から、本学の大学祭である「御幸祭」の運営委員として活動した経験があります。その活動は私が三年次の時まで参加しました。二年次は広報の部署でパンフレットの製作や企画の道具制作など、ものづくりを先輩や後輩とともに行いました。私は先輩後輩に恵まれており、その時間を楽しく過ごした思い出があります。

一方、三年次では役員をまとめる委員長となり、二年次より苦労が多かったことを思い出します。委員長の役割は、スーツを着ての様々な活動が加わり、人前に出て発言する機会もありました。元々人見知りである性格の私は、人前に立つことが苦手でした。しかし、この経験によって人前に立つて話すことに対して、あまり緊張することがなくなりました。

私にとって、運営委員長の経験は、私の人生における初めての試練だったと思います。また、広報担当の時間も委員長の時にも、私があまり経験しなかった「初めて出会う人」と目標に向かって協力し合う「貴重な時間」でした。この経験は、私が就職した時に必要となる技術を養うものだったことが後々分かりました。当時はいろいろな課題や苦悩にぶつかり、つらい思い出もありましたが今ではよい思い出です。

私の学生生活は、「社会人として必要となる学びをたくさん得られた四年間」でした。卒業後、私は本学での思い出のあるスーツを、就職先の内定式や入社式に着て、これからの社会人生活を頑張りたいと思います。

私の大学生活

看護学科 千葉 咲



長いようで短かった大学生活も幕を閉じ、卒業の日を迎える今日。四年間を振り返るとたくさんの出会いがあり、多くのことを学び、仲間と夢に向かって

努力した日々だったと思います。人の命を預かり、生死と隣り合わせの現場で働く看護師は、肉体的にも精神的にも負担の大きい職業です。しかし、患者様が元気になる姿を目の当たりにし、「ありがとう」と感謝の言葉をもらった時は、日々の苦勞を忘れるほどの達成感を得られる、やりがいのある職業だと思っています。

私がこの四年間で最も印象に残っているのは、三年次の各領域ごとの実習です。上手くいかないことも時にはあり、記録や自分の不甲斐なさに苦しみ日もありました。しかし、誠実に患者様と向き合うことで返される「ありがとう」という言葉に励まされ、その度に看護を学ぶ自分自身を見つめ直し、専門性や責任感について考えさせられました。患者様や看護師との関わりの中には教科書では学べないことがたくさんあり、今後の糧となる経験になったと思います。

国家試験は、この四年間の集大成です。不安とプレッシャーに押しつぶされそうになる毎日でしたが、一緒に努力してきた仲間と乗り越えることが出来ました。その背景には、応援し支えて下さった教員の皆様や、家族・友人の支えがあったからだということは決して忘れません。

4月からは助産師になるために、本学の助産学専攻科へ進学します。これまでの学びを活かし、同じ夢を持つ仲間と共に、常に向上心を持ちながら夢に向かって努力していきたいと思っています。本当にありがとうございました。

夢に向かって

こども学科 梶原 千花



たくさん経験の積み、いろいろな思い出のいっぱい詰まった大学を卒業する日がやってきました。四年前の入学式では緊張と期待でドキドキしながら正門をくぐったことが昨日のように感じられます。

私は、幼いころから小学校や幼稚園の先生になることを夢見てきました。こども学科では、保育士、幼稚園教諭、小学校教諭の三つの資格・免許を取得できます。そこで私は、全ての資格・免許を取得し、いずれかの先生になろうと決めて大学生活をスタートしました。

一年生の頃は、初めて体験する大学生活を楽しんでいました。二年生になると保育実習があり、不安でいっぱいでしたが、大学や実習先の先生方のご指導により、無事に終えることが出来ました。三年生になると、幼稚園、小学校の教育実習があり、やはり不安はありましたが、保育実習や模擬授業で学んだことを生かし、最後までやりとげることが出来ました。そして実習を終え、私の中で芽生えてきたのは「小学校教員になりたい」という思いでした。

その後は、同じく小学校教員を目指す友人らと採用試験対策室で勉強に励みました。時には挫折しそうにもなりましたが、周りの人々からの励ましの言葉を頂き、続けることが出来ました。そして最終的に、大阪府の小学校教員採用試験に合格することが出来ました。自分一人では成し遂げることができない結果でした。挫折しそうになった時に、声を掛けてくださった先生方や友人の皆さん、本当にありがとうございました。

四年間を振り返りますと、私は常に多くの方々に支えられてきました。そのおかげでとても充実した四年間を過ごすことができ、今、感謝の気持ちでいっぱいです。就職してもこの感謝の気持ちを忘れず、夢であった小学校教員として頑張っていきたいと考えています。

四年間、本当にありがとうございました。

「スポーツ」と共に、描く夢

健康スポーツ科学科 與那嶺 寛大



私の大学四年間での思い出は、「スポーツ」と共にあります。授業では、保健体育教員になるための専門的授業や模擬授業を行い、より専門的に学びました。その他にも、スポーツを科学の視点から見たり、競技を行ったりとあらゆるスポーツを学びました。また、健康スポーツ科学科には、大成杯という学科のゼミ対抗の体育祭があり、各ゼミでスポーツ種目を行います。全員が楽しみながら、時には全力で行うスポーツがとて楽しく印象に残っています。

部活動ではソフトテニス部に所属し、遅い時には夜の9時までコートに立ち練習に励みました。そして共に切磋琢磨した仲間達と勝利を分かち合う瞬間は、これ以上ない一番の思い出です。私達の側にはいつもスポーツがあり、一人の人間として成長させるだけではなく、夢を見つめる手がかかりとなりました。それは、この健康スポーツ科学科だったからこそだと考えます。

私の夢は新しいスポーツの時代を作ることです。この夢は大学生活で導かれた答えでした。私は何のためにスポーツを学び、競技しているのか考えずただ我武者羅にスポーツが好きという一点で行っていました。しかし、大学で学ぶ四年間が私を変え、スポーツに対して熱い情熱を持った多くの先生方から指導をいただくことで、現在ではそれが楽しむだけではなく、「伝えたい。私も伝えなければならぬ」と使命感のようなものを感じました。そのために私は、本学の四年間で学んだ知識を生かすことができる体育器具メーカーに就職し、まずは多くの子供達に体育としてスポーツを楽しんでもらう環境を作っていきたいと考えます。これからもスポーツと共に、いつか世界中の人々をスポーツで幸せにする世界を作りたいです。ここまで成長できたのは、支えてくれた両親や、仲間、手厚く指導してくださった先生方のおかげです。感謝の気持ちを忘れずに、夢に向かって日々前進して行きたいです。



門出を祝して卒業生に贈る言葉

目標を持って新しい社会へ

経営学部長 川久保 和雄



みなさん、ご卒業おめでとうございます。これから社会の一員として、大学4年間に身につけた力を活用し、さまざまな困難を切り開いて、自信を持って前進していただくください。

今、社会は急激に変化しています。たとえばAI（人工知能）の急速な発達で、2045年にはAIが人間の知能を超えると言っている学者がいます。今後10〜20年後には、現在の仕事・職業の47%がAIによって、ロボット・コンピュータに取って代わられるという予測をしている人もいます。車の自動運転は実用目前であり、将棋や囲碁ですでに、AIがプロ棋士に勝利を続けています。アニメやSF映画の中の存在であったロボットが現実社会に進出し、人間と共存していくのかもしれない。この人類が経験したことのない社会の到来を迎えるのも時間の問題ではないでしょうか。そのような社会では、あらかじめ正解が用意されている問題ではなく、予測が困難な問題に直面することも多いと思います。学生時代のように、教科書が決まっていた、授業で先生が教えてくれるということはありません。ぜひ大学で身につけた力を活用して、正面から全力で取り組んで問題を解決していただくください。

みなさんは今、新しいスタートラインにいます。これからの長い人生を送るにあたって、希望に夢をふくらませているのではないのでしょうか。スタートにあたって重要なことは、将来の目標・計画を持つておくことです。今から10年後、20年後、30年後に、自分がどういう人間に成りたいのか、どういう人間に成るべきかを、納得がいくまで十分考えてください。今までは、家族、友人、先生という、比較的環境が限定された均質的な人間集団の中で過ごしてきましたが、社会に出るとあらゆる世代の、考え方の異なる人たちと広く触れ合うこととなります。周りを見回すと、きつと先輩や上司をほじめ、多くの人たちの中に深く尊敬できる人が見つかると思います。そういう人たちの目標にして、将来の自分を目指して勉強を続けてください。若いうちにどれだけ勉強したか、どれだけ努力したかによって、その後の人生が決まるということも過言ではありません。

私たちはみなさんのことを、これからも心から応援していきます。みなさんも母校である福山平成大学のことを時々思い出して、応援していただければ幸いです。最後にみなさんの今後のご健康、ご多幸を心からお祈りします。がんばってください！

卒業生に贈る言葉

福祉健康学部長 永井 純子



皆さん、御卒業おめでとうございます。福山平成大学での学生生活はいかがでしたか。新入生オリエンテーション・キャンパスに始まり、学長杯・御幸祭、それ以外に学科毎にもいろいろな行事がありましたね。学生食堂や図書館、体育館、コンピュータ室でも随分お世話になったのではないのでしょうか。授業はどうでしたか。積極的に取り組むことができたか。卒業論文の作成ではこれまでにない苦しみを経験したのではないかと思います。

ペンシルバニア大学のダックワース博士は、「成功者が持つ共通点はGrit（グリット）である。」と言っています。グリットとは、物事に対する情熱（集中力）であり、目的を達成するためにとてつなく長い時間、継続的に粘り強く最後までやり抜く力のことです。この2年間、先の見えない不安と苦しみにも耐えながら、根気強く頑張った論文を仕上げたあなたはとても素晴らしい。本当に良く頑張りましたね。その苦しみこそが自分を成長させ、究極の能力といわれるグリットが身についたのではないのでしょうか。努力すること、成功を経験し、成功すること、自分に自信を持つことができる人につながってくればと願っています。

しかし、人生はそううまくはいかないこともあると思います。トーマス・ヘンリー・ハックスレーは「若いうちに失敗することは実は非常に有益なことである。肝心なのはそれで潰れないことである。」と言っています。これから失敗を恐れず困難に立ち向かう勇氣を持つて下さい。いかなる困難の中にもチャンスがあるはずですよ。いろんな人に助けをもらいながらで結構です。率先して状況を改善する行動を起こしましょう。また、教室を離れても学ぶことを続けて下さい。そして方向感覚を失わず、学ぶ意志や欲求を持ち続けて下さい。いつかきつと成功する日が来ると信じています。

これから社会に出ていく皆さんが気持ちよく働くためには、第一に時間やルール等、規則を守ること。第二にどうすれば良いか判断に困ったときは一人で判断せず、信頼できる人に相談して正しい価値判断をすること。第三に自分のことだけでなく、他者の気持ちを理解できるように行動すること。この3つを心がけて行動すればきつと道は開かれると思います。最後に、一生懸命頑張ると息苦しくなる時期があります。そんな時はいつでも大学に来て下さい。私たち教員一同はいつでも皆さんの幸せを心から祈っています。

ご卒業おめでとうございます

看護学部長 森田 なつ子



ご卒業おめでとうございます。晴れの門出を迎えられた看護学部看護学科8期生の皆さん、保証人の皆様、心からお祝い申し上げます。

現在の日本は少子高齢化が進み、超高齢化社会と言われる時代となり、多様な保健・医療・福祉に対応できる看護職が求められ、その活躍の場は拡大し、看護職の役割の拡大の推進などが行われています。

昨年、開設10周年の節目にあたり、平成29年6月17日、学校法人福山大学宮地茂記念館において「看護学部開設10周年記念行事」を開催いたしました。「記念講演」「記念シンポジウム」を行い、看護専門職として活躍している卒業生の参加もありました。卒業生は県内外から駆けつけ、近況と活躍の様子も聞くことができました。8期生の皆さんがその卒業生に続いていくことになります。また、卒業生の輪が広がっていくことを楽しみにしております。

本学看護学部教育理念の基、皆さんは看護専門職に必要な学びを4年間修得してきました。初めの一歩は小さいかも知れませんが、社会で仕事をしていく中で、情熱と努力で培った知識と技術を活かし、臨床での教育を継続し、後々の仕事の質や量などキャリア教育につなげて行ってください。これから、職場や人生のさまざまなシーンで課題にぶつかったりすることもありますが、それは、臨地実習などでも励まし合ったり、励め合ったりした仲間がいること、思い出せば共有できる大学という場がここに一つあることを思い出してほしいと思います。これからの皆さんは未来に向けて、新しい土地で、新しい職場で、新しい経験、そして新しい同僚・先輩・職員の皆様との関わりが始まります。看護専門職としての自信と誇りを持って新たな目標に向かい、人と出会い、年齢を重ねていける皆さんの近況を聞かせていただける機会のあることを楽しみにしております。同じ看護専門職の仲間としてこれからの看護を語り合い、看護の質の向上に協働して行きたいと思っております。また、皆さんが更なる学問を究めたい時なども、何時でも母校を訪ねてください。大学は、これからも皆さんを応援し続けます。皆さんも大学を応援してください。地域における医療、保健そして福祉向上のために自分の力を信じ、未来の可能性に向け、ご活躍されることを願っております。

また、助産学専攻科並びに大学院看護学研究科修了生の皆様、ご卒業おめでとうございます。助産師として、看護専門職のリーダーとして大いに活躍され、看護専門職の発展に寄与されることを期待すると共に、ご多幸をお祈りいたします。



平成29年度 卒業者数

学 部	学 科	卒業者数
経 営 学 部	経 営 学 科	29名
福 祉 健 康 学 部	福 祉 学 科	41名
	こ ど も 学 科	52名
	健 康 ス ポ ー ツ 科 学 科	87名
看 護 学 部	看 護 学 科	85名
計		294名

研 究 科	専 攻	修了者数
経 営 学 研 究 科	経 営 情 報 学 専 攻	1名
看 護 学 研 究 科	看 護 学 専 攻	4名
計		5名

専 攻 科	修了者数
助 産 学 専 攻 科	9名

合 計	308名
-----	------

平成29年度 学生表彰者一覧

このたび、「学生表彰」として学長賞が第21回学位記授与式において次の学生に、坪井学長から表彰状と副賞が手渡されました。

学長賞は「学業部門」において、特に優秀な成績を修めた学生に授与されるもので、今年度は、5名が表彰されました。

学 長 賞

経営学科	中 上 美 月
福祉学科	林 一 陽
こども学科	井 藤 咲
健康スポーツ科学科	山 際 雄 大
看護学科	栗 本 佳 奈



御幸五訓

- 一、真理を求め、道理の実践を志向する。
- 二、豊かな品性と魅力ある個性を伸ばす。
- 三、不屈の魂を養い、紐帯性を培う。
- 四、生命を尊重し、自然を畏敬する心情を育くむ。
- 五、誠実と倫を胸に刻み、夢の実現に挑戦。

編 集 福山平成大学広報委員会(学報作成部会)

発 行 福山平成大学

発行日 2018年3月21日

福山平成大学

〒720-0001 広島県福山市御幸町上岩成正戸117-1

TEL 084-972-5001(代表) FAX 084-972-7771 <http://www.heisei-u.ac.jp/>